

視点	メリット	デメリット、または例外
オペレーション	<p>ターンラウンド: 一般的に輸入から輸出までに所要日数が短縮できる。</p> <p>国レベル輸出入バランス維持: ラウンド分に限っては輸出入同数で過不足を生じなく、ラウンドが増えるほど空バンのシーポジが削減出来る。</p> <p>ハンドリング・コスト: ラウンドコンテナは港でのハンドリング・コストが掛からない。内陸デポを使ったラウンドの場合でも低く抑えられる。</p>	<p>スタート当初、先入先出問題を発生した内陸デポもあった。以後、改善</p>
営業戦略	<p>地方デポからの荷主情報提供と人脈提供</p> <p>内陸の荷動き状況をデポ経由でリアルタイム把握可能。一般的に船社は自社コンテナの位置情報を持っていない。</p> <p>荷主企業のメリットを通して起用船社としての支持をもらえる場合が多い。 ※荷主企業のメリットは陸上コスト低減、CSRその他</p>	
その他	<p>環境レポートでの効果報告(株価)</p>	

## CRU 情報インフラ モバイル端末対応 Global Container Matching



お名前(必須)  
姓:  名:

氏名ふりがな  
姓:  名:

会社名  
姓:  名:

都道府県  
11 埼玉県

事業形態  
複数の業態を行っている場合、それら全てを選択して下さい。  
 1 内陸デポ  2 ドレージ  3 通関、乙仲、丙中  4 船社  5 輸出荷主  6 輸入荷主  7 国内荷主  8 NVOCC  9 輸送関連技術、サービス  10 港湾関係  11 公共機関

### 必要情報10項目揭示:

1. コンテナ取扱事業者カテゴリ別一覧
2. ラウンドユースの手順書
3. ラウンドユースに必要なコンテナ検査保険と購入窓口
4. ラウンドユースに対する自治体等のインセンティブと窓口
5. マッチング・エキスパートによる支援制度と申込窓口
6. 内陸デポ、インランドポート最新情報と活用法
7. コンテナシェアリングの実施手順書
8. 国内貨物とのマッチング注意点と手順書
9. コンテナ保管・中継サービスを行っている内陸拠点情報
10. 梱包材のリユース・リサイクル情報と実施手順書

### サイト利用例:

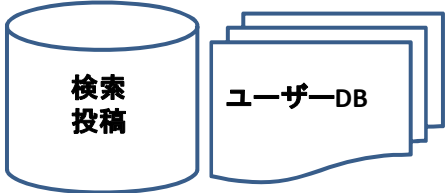
- ①空コンテナ移動状況把握とモバイル端末での交信
- ②空コンテナ返却、引き取り、交換場所のモバイル検索  
例: 京浜に返却に向かう空を積んだドライバーがより、近いエリアでの返却先を“エリア”“内陸デポ”検索でモバイル送信し可能とする。
- ③空コンテナの検査をドライブスルーで実施できる拠点をモバイル検索し、デポまで行かずに輸出転用。

# 情報インフラ機能



ラウンドユースのパートナーいないか？  
近くに空コンテナの返却先はないか？  
近くでA船社の空コンテナ引き取れないか？

パートナー募集メールに返信  
空コンテナの返却先メールに返信  
A船社の空コンテナ引き取り検索に返信



荷主企業  
通関企業陸  
運企業  
船社

データベースから絞り込み検索でマッシング率アップ  
QRコード、空メールの簡単ユーザー登録で情報収集  
投稿に対するコメントで問題解決

荷主企業  
通関企業陸  
運企業  
船社